

学生時代に穂高連峰を縦走した時に、長野県側は雲(霧)、岐阜県側は晴れ・・・という気象条件の中で尾根を歩いていました。すると、雲の中に丸い虹のようなものが現れ、その中に人間の姿が見えました。これが「ブロッケン現象」との初めての出会いでした。太陽光が人、山の山頂、独立樹などに差し込み、逆側に雲(霧)がある場合だけに見られる「大気光学現象」の一つです。自分の影に後光がさしたように見え、「ブロッケンの妖怪」とか「ブロッケンのお化け」の異名もあります。ドイツの「ブロッケン山」でよく目撃されたことに由来する名称です。

条件さえそろえばよく見られ、それほど珍しい現象でもありません。しかし地上では、低い地平高度から太陽光が射しているという条件が必要で、早朝や夕刻に現れることが多いです。時には自分が搭乗している飛行機の影が、下方の雲にブロッケン現象をつくり出すこともあります。先日、群馬県の二度上峠(にどあげとうげ)で見た「ブロッケンの妖怪」は、わずか数メートル先の霧に出現しました。早朝で太陽光は横から射し、霧(層雲)は次々と去来していたので、20分以上出現し続けていました。珍しい「妖怪」に出会えてよかったです。

(2024年9月中旬/群馬県二度上峠)

